

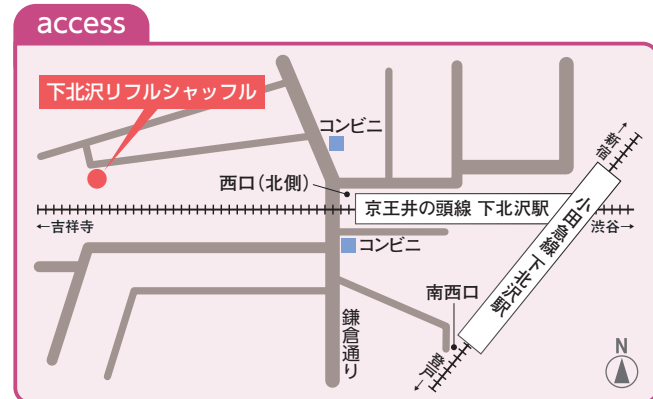


下北らしさを発信するイベントを企画 個性あふれる店づくりに邁進！

アパレルショップ

下北沢リフルシャッフル

しもきた商店街振興組合（世田谷区）



世田谷区代田 6-1-18-102
<https://riffleshuffle.net>
https://x.com/RiffleShuffle_R

活用した事業

- ・店主スキルアップ事業
- ・商人大学校
- ・商店街リーダー実践力向上塾



貴族の小屋をイメージしたファンタジックな店内。ところ狭しと並ぶドレスの一部は、店長やオーナーが自らデザイン・縫製したオリジナル。

「キャラ縫い」という独自のデジタル縫製技術で作られた精巧な刺繍アート。この技術は久保田さんが自ら開発したもので、かつては世田谷ものづくり学校で講師も務めた。



ドレスに合う小物類も豊富。仕入商品とともにオリジナル商品を多数陳列。



入り口では、店のオリジナルキャラクター「シャッフル王女」がお出迎え。



オーナーの久保田さとのりさん。左のドレスはフランス大使館員が実際に着用した。

公社の支援を受け続けて 社員のスキルアップを図る

フリルたっぷりのゴージャスな服、紋章を刺繍したタペストリー……。まるで西洋のお城に迷い込んだようなアパレル店が、下北沢の住宅街に忽然と現れる。ファンタジックな世界観に魅了された10～20代の女性を中心に、コアなファンを獲得している。

開業は2007年だが、店長の伊藤江里奈さんは10年前に入社。異業種からの転職ということもあり、「商人大学校」を受講して経営知識を学び、「店主スキルアップ事業」でお店の改善を図ることにした。SNSを活用した販売促進をはじめ、商品のディスプレイや店舗の改善、EC販売の充実にもつめたWebサイトの整備など、2018年度以降は毎年テーマを変えて、さまざまな専門家の支援を仰いでいる。「効果的なディスプレイの方法や適切な価格設定など、アドバイスが大いに役立っています。一度、業者に任せてホームページがおかしくなったことがあったんですが、それを復旧し、再構築できたのも支援のおかげ」と、狙いどおり多様なノウハウを獲得し、店舗経営に活かしている。

イベントを開催して 「下北らしさ」を街ぐるみで発信

下北沢は、演劇や音楽などの文化、サブカルの聖地としても知られ、当店のようなニッチで「とがった」店も多い。しかし、近年は街の再開発などもあって、個性的な店は減少傾向だ。店のオーナー久保田さとのりさんは「下北らしさ」をもっと掘り起こし、クリエイターたちに活躍の場を提供したいとの思いから、物販とアトラクションを盛り込んだ「ファンタジー市」というイベントを企画。そのアイデアを「しもきた商店街」に持ち込み、組合のバックアップ

を得て、月1回の定期イベントに育て上げた。その企画力が認められ、1年後に商店街組合の理事に就任。そこで、店の経営や商店街のあり方などについて、もっと知見を深めようと、「商店街リーダー実践力向上塾」に参加し、都内の商店街を視察。「他の商店街の話の聞くと、自分の街の足りないところが分かる。改善すべき課題が見え、情報交換もできて、大きな学びがありました」という。

街の文化が感じられる 地域に根差した店をめざして

公社の支援は継続的に受けており、今は動画制作に力を入れている。「時代の流れが早くて、追いつくのが大変。専門家には、その流れに合わせて伴走していただいています」と伊藤さん。「この店が、下北沢を訪れる理由にはなっている。そういう意味で街をにぎやかにするのに一役買っていると思う」と久保田さん。店として進化しながら、街にもしっかりと根付き、貢献し、いまや地域にとっても貴重な資源となっている。この街ならではの空気と文化を背景に、個性あふれる店づくりに邁進している。



隠れ家的な雰囲気を出しつつ店内では、人目を気にすることなくじっくり商品を選ぶ。この世界観にひかれて来店するファンが多い。